

月齢と月のよび名

月齢と月のよび名

月と太陽が同じ方向になることや、同じ方向になる時刻のことを朔（さく）といい、朔から経過した時間のことを月齢といいます。また、太陰暦では、朔の日を毎月一日（ついたち…月立ち）としました。

月の満ち欠けは、およそ29.5日周期で、月齢にもなって起こり、それぞれの形の月にはよび名があります。次に、月のよび名と、およその月齢などを示しています。

新月	月齢0。月が朔の位置にあるので、地球からは月の姿を見ることができない。	満月	月齢14。最も円に近い月。望月・十五夜（の月）などともよばれる。	
織月	日没後、1時間前後の西の空に見える、繊維のように細い月。	十六夜	いざよいと読む。月齢15。月の出が、十五夜よりやや遅くなっているのを、月が「いざよう（ためらう）」に見立てた。	
三日月	月齢2。眉月ともよばれる。古くは、初めて見ることが出来る月という意味で、初月、若月、新月ともよばれた。		立待月	たちまちづきと読む。月齢16。日没後、立って待つ間に出る月という意味。
上弦	月齢7。半月を弓になぞらえ、その弦が上を向いていることから、こうよばれる。		居待月	月齢17。月の出が立待月よりもさらに遅くなり、座って待つ間に出る月という意味。
十日夜	とおかんやと読む。月齢9。	寝待月	月齢18。寝て待つという意味。臥待月ともよばれる。	
十三夜月	月齢12。古くは、満月の次に美しい月とされた。	更待月	月齢19。夜も更けてから昇ってくるのでこうよばれる。	
小望月	月齢13。満月（望月）の前夜の月。満月を待ち望むという意味で待宵（まつよい）の月ともよばれる。	下弦	月齢23。半月を弓になぞらえ、その弦が下を向いていることから、こうよばれる。	



日の出…… 5:28
日の入…… 17:40
月の出…… 9:26
月の入…… 20:19

月の呼び名を知ること、月の満ち欠けに対する興味をもつきっかけとなります。新聞に記載されている月齢の情報などを提示し、「今日の月は何の月かな。」などと話題を広げてもよいでしょう。

